

佐藤学 著



中高一貫校 適性検査

要約! 資料分析問題

2017 年版

■テーマ

農業 米づくり 農業の歴史

■出題タイプ

- ・知識を必要とする穴埋めタイプ
- ・知識を必要とする理由を記述するタイプ
- ・知識を必要とする考えを記述するタイプ

■出題資料タイトル

- ・1人1年あたりの米の消費量の変化(日本)
- ・1haあたりの米の生産量
- ・今と弥生時代の米づくりのちがい
- ・奈良時代ごろの日本のお金

■この問題を通して知っておきたい知識・ポイント

・1970年から40年間で、1人1年あたりの**米の消費量はかなり減少**している。
その理由は、家庭で調理した米の消費量の減少やパン食などに変わってきたため。

・しかし、家庭以外で調理した米の消費量は減ってはいない。
家庭以外で調理した米には、例えば、レストランや食堂で食べるものやコンビニで売っているお弁当やおにぎりなどがある。

・弥生時代の人たちは、米をたくわえて生活を安定させることができたため、少しずつ人口が増え、水田も広がっていった。そして、奈良時代になると、米で税を集められるほど、米の生産量が増えた。

・弥生時代は、苗を育て、よく育った苗を植えていたが、現代は気候にあって育てやすく味がよいなど、よりよい性質をもった米にするために**品種改良**した苗を植えるようになった。

■テーマ

交通 かんじょうこうきてん
環状交差点

■出題タイプ

- ・知識を必要とする理由を記述するタイプ

- ・会話文・資料中にヒントがある理由を記述するタイプ

■出題資料タイトル

- ・場所別の交通事故の発生件数
- ・環状交差点の写真
- ・普通の交差点での車の進み方と主なルール
- ・環状交差点での車の進み方と主なルール

■この問題を通して知っておきたい知識・ポイント

・交差点の中の交通事故の件数を減らすために、信号機のない**環状交差点**という交差点がつくられている。

・なぜ、環状交差点では交通事故が減るのか、
その理由は、

- ・道が直線ではないので、車の速度が上がりにくいから。
- ・普通の交差点の中では、右折のときに自分の車に向かって前からくる車と衝突する可能性があるが、環状交差点の中では、すべての車の進み方は**右回り**で、自分の車に向かって前からくる車がないから。

★環状交差点の良い点は、交通事故の件数が減るという他に

- ・信号機の設置にかかる費用を節約できる。
- ・それによって、金属などの資源を節約できる。
- ・電気を使わずに済む。

という点もある。

2017年 岩手県立一関第一高等学校附属中学校

■テーマ

交通 環状交差点

■出題タイプ

- ・知識を必要としない資料から答えを導くタイプ
- ・会話文・資料中にヒントがある穴埋めタイプ

■出題資料タイトル

- ・環状交差点について ポスター
- ・環状交差点の効果・影響
- ・視覚障がい者の立場から環状交差点を考える

- ・写真 音響装置付き信号機のある横断歩道のようす
- ・写真 環状交差点の横断歩道のようす

■この問題を通して知っておきたい知識・ポイント

★信号機のある交差点が環状交差点に変わることの良い点

- ・信号機付き交差点の場合、停電になると発電所から「電気」が送られてこないため「信号機」が動かず、交差点を通過する車両や歩行者の交通整理が難しくなる。
- しかし、環状交差点では車両は「**右回り通行**」，環道優先と定められているので，信号機がなくても交差点内を通過する運転手や歩行者の交通整理を行うことがいつでも可能となる。

★他の良い点として

- ・交差点の車の通過速度が低下する。
- ・横断時の歩行者の安全性が向上する。
- ・交差点での待ち時間が減少する。
- ・二酸化炭素の排出量が減少する。
- ・騒音レベルが低下する。
- ・地域のシンボルとして景観がよくなる。

などがある。

- ・悪い点として，**視覚障がい者の横断がむずかしくなる**ということがある。

その理由は，今までは視覚障がい者のために音響装置付き信号機などが設置されてきたが，環状交差点ではこのような設備の設置がないため。

2017年 宮城県共通(宮城県仙台二華中学校，宮城県古川梨明中学校)

■テーマ

オリンピック 交通

■出題タイプ

- ・知識を必要としない資料から答えを導くタイプ
- ・知識を必要とする理由を記述するタイプ
- ・会話文・資料中にヒントがある考えを記述するタイプ

■出題資料タイトル

- ・地図 1964年の首都高速道路(開通時)
- ・鉄道と自動車の貨物輸送量の変化
- ・線路と舗装道路の長さの変化

■この問題を通して知っておきたい知識・ポイント

・首都高速道路は、1964年に開かれた東京オリンピックに向けて建設が始まった。

その理由は、世界各国から訪れるオリンピックに参加する選手たちや観光客が、選手村や会場などへ短時間で移動できるようにするため。

・工場やお店などに貨物を輸送するとき、鉄道では、その場所まで直接輸送できないが、自動車は、直接輸送できるという利点がある。

2017年 宮城県共通・宮城県仙台二華中学校

■テーマ

水産業

■出題タイプ

・会話文・資料中にヒントがある理由を記述するタイプ

■出題資料タイトル

・日本のカキの水揚げ量

・地図 宮城県の沿岸北部

■この問題を通して知っておきたい知識・ポイント

・日本のカキの水揚げ量は、1位が広島県、2位が宮城県、3位が岡山県となり、この3県で日本のカキの水揚げ量の約80%を占めている。

・瀬戸内海や宮城県の沿岸北部の湾では、カキの養殖が盛んである。

その理由は、

波が穏やかで、いかだを安全に設置できるため、

海水の温度が適しているため、

川の上流に森林があり、そこから流れ出た養分をふくんだ水が、川によって湾に運ばれるため、

などがある。

2017年 福島県立会津学鳳中学校

■ テーマ

水産業

■ 出題タイプ

- ・ 知識を必要とする理由を記述するタイプ

■ 出題資料タイトル

- ・ 日本の漁業別の生産量の変化

■ この問題を通して知っておきたい知識・ポイント

- ・ さいばい(栽培)漁業とは、人間の手で魚や貝の卵をかえして、海に放流し、自然の中で育ててからとる漁業をいう。



サケやマスなどが代表的だね！

- ・ トレーサビリティとは、食品の流通経路りゅうつうけいろを生産段階から消費者に届くまでの過程が記録され、追跡ついせきが可能なくみをいう。

- ・ 養殖業ようしよくでも、このトレーサビリティのしくみが整えられてきている。

その理由は、

だが、どこで生産したのかがわかるので、消費者は安心して買うことができるから。

2017年 福島県立会津学鳳中学校

■ テーマ

地球温暖化 ゴミ問題

■ 出題タイプ

- ・ 知識を必要としない資料から答えを導くタイプ
- ・ 知識を必要とする理由を記述するタイプ

■ 出題資料タイトル

- ・ごみを減らす工夫
- ・世界の二酸化炭素排出量の割合

■この問題を通して知っておきたい知識・ポイント

・京都議定書とは、温暖化に対する国際的な取り組みのための国際条約。1997年に京都で開催された国連気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)で採択されたため、「京都」の名がつけられた。この京都議定書をもとに、多くの国が協力して地球温暖化防止に取り組んできている。

・京都議定書が結ばれた理由は、世界全体で温室効果ガス(二酸化炭素など)の排出量を減らしていく必要があり、それは**1つの国だけでは達成できない**から。

・二酸化炭素を減らすために緑化活動が大事な理由は、植物は**二酸化炭素を吸収する**はたらきがあるから。

2017年 茨城県共通

■テーマ

農業 米づくり

■出題タイプ

- ・知識を必要とする考えを記述するタイプ

■出題資料タイトル

- ・日本国内における米の消費量の変化
- ・農業協同組合(JA)の人の話

■この問題を通して知っておきたい知識・ポイント

- ・日本国内における米の消費量が減少している

★米の消費量を増やすための試みとして、

・コンビニエンスストアなどのおにぎりやお弁当で使われるお米の注文を増やすために、冷めてもおいしい新たな米を作る。

・**米粉**を使ったパンやめんなど、米から加工食品を作り消費を増やす。

などがある。

2017年 栃木県共通

■テーマ

エネルギー 電気

■出題タイプ

- ・知識を必要としない資料から答えを導くタイプ

■出題資料タイトル

- ・1件あたりで一か月に使われる電気の量
- ・主な家庭用電気製品の普及率の移り変わり

■この問題を通して知っておきたい知識・ポイント

・1970年から2010年までの1件あたりで1か月に使われる電気の量は増加している。
この理由の1つとして、
エアコンとパソコンの普及率が増加したことがあげられる。

2017年 群馬県・伊勢崎市・太田市共通

■テーマ

地球温暖化

■出題タイプ

- ・会話文・資料中にヒントがある穴埋めタイプ
- ・会話文・資料中にヒントがある理由を記述するタイプ

■出題資料タイトル

- ・世界の二酸化炭素の排出量(2013年)
- ・国民一人あたりの二酸化炭素の排出量(2013年)

■この問題を通して知っておきたい知識・ポイント

・二酸化炭素の国別の排出量の割合を見ると、中国は28.7%で一番多いが、国民1人あたりの二酸化炭素排出量は、6位になる。

・地球温暖化を防止するには、**世界中の国が協力**して、二酸化炭素の排出量を減らすように努める必要がある。

★参考

□世界の二酸化炭素の排出量(2013年)

- 1位 中国
- 2位 アメリカ
- 3位 インド
- 4位 ロシア
- 5位 日本
- 6位 ドイツ

□国民一人あたりの二酸化炭素の排出量(2013年)

- 1位 アメリカ
- 2位 ロシア, 韓国
- 4位 日本
- 5位 ドイツ
- 6位 中国



地球温暖化といえば、二酸化炭素。
二酸化炭素を減らすには、
「**緑化活動**」, 「**世界で協力**」がキーワードだね！

2017年 群馬県・伊勢崎市・太田市共通

■テーマ

エネルギー問題

■出題タイプ

- ・知識を必要とする考えを記述するタイプ
- ・会話文・資料中にヒントがある理由を記述するタイプ

■出題資料タイトル

- ・日本における発電に使われるエネルギー資源の割合(2015年度)
- ・世界における石炭, 石油, 天然ガスの確認された埋蔵量(2014年末)

本pdfデータは

全国公立中高一貫校 適性検査

「**要約！資料分析問題 2017年度版**」の一部を紹介したサンプルになります。

「**要約！資料分析問題**」は、

「資料分析問題の対策ができてない！」

「とにかく時間がない！」

「他の受検生と差をつけたい！」

「資料分析問題で出題される頻出テーマ, 覚えるべきポイントを知りたい！」

という方のために, 適性検査では必須の「資料分析問題」を要約し, 覚えておきたい知識やポイントをまとめたものです。

全国のどこの書店, 予備校, 塾にもない完全オリジナルアイデアの資料分析問題対策まとめ集です！

たとえ試験にでなくても,

「へえーそうなんだ！」

と教養が身につく, 親御様が読んでもととても勉強になると思います。はっきり言って, 一通り目を通すだけでも十分役に立ちます！

A4サイズ pdfデータ

2015年度版は, [コチラ](#),

2016年度版は, [コチラ](#),

2017年度版は, [コチラ](#),

お買い得セット商品(2015年, 2016年, 2017年度)は, [コチラ](#),

よりご購入いただけます。